



平成 30 年 3 月 30 日

各 位

会社名	日本通運株式会社
代表者名	代表取締役社長 齋藤 充
(コード番号	9062 東証第 1 部)
問合せ先責任者	財務部長 大槻 秀史
(TEL	03-6251-1111)

## 特別損失・特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期の連結決算において、のれん及び固定資産に係る減損損失、個別において、関係会社株式に係る評価損を計上いたします。また、政策保有株式の一部を売却及び退職給付信託へ抛出いたしました。

これらを受けて、平成 30 年 1 月 31 日に公表した平成 30 年 3 月期の業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

##### (1) 株式会社ワンビシアーカイブズ

(連結決算におけるのれん及び固定資産の減損損失)

買収時の事業計画には、平成 29 年度以降、海外への事業展開等のシナジー効果を計画しておりましたが、現状、その効果が見込めないこと等から、今後の事業計画を見直し、回収可能価額について検討した結果、平成 30 年 3 月期第 4 四半期において、のれん及び固定資産に係る減損損失約 500 億円を計上する見込みとなりました。

(個別決算における関係会社株式の評価損)

上記と同様の理由により、平成 30 年 3 月期第 4 四半期において、当社が保有する株式会社ワンビシアーカイブズ株式に係る関係会社株式評価損約 470 億円を計上する見込みとなりました。

なお、当該関係会社株式評価損は、個別業績のみに計上され、連結業績への影響はありません。

##### (2) 日通ロジスティクスタイランド株式会社

(連結決算におけるのれん及び固定資産の減損損失)

タイ国における日通グループの組織・機能の再構築とともに、ワンストップ営業・アカウント営業を強化し営業拡大に取り組んでおりますが、売上高・利益ともに合弁先持分買取時の事業計画を下回っていることから、今後の事業計画を見直し、回収可能価額について検討した結果、平成 30 年 3 月期第 4 四半期において、のれん及び固定資産に係る減損損失約 70 億円を計上する見込みとなりました。

#### 2. 特別利益の計上について

当社は、政策保有株式の見直しによる資産効率の向上と財務体質の強化のため、当社が保有する政策保有株式の一部を売却及び退職給付信託へ抛出いたしました。

上記の政策保有株式の売却及び退職給付信託への抛出により、平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結決算および個別決算において、投資有価証券売却益 57 億円、退職給付信託設定益 156 億円を計上いたします。

### 3. 業績予想の修正について

#### (1) 平成30年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (平成30年1月31日公表)	百万円 1,980,000	百万円 70,000	百万円 73,000	百万円 43,000	円 銭 447.87
今回修正予想 (B)	1,980,000	70,000	73,000	1,000	10.42
増減額 (B-A)	—	—	—	△42,000	
増減率 ( % )	—	—	—	△97.7	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	1,864,301	57,431	63,806	36,454	371.32

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株に併合いたしました。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 平成30年3月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (平成30年1月31日公表)	百万円 1,083,000	百万円 37,500	百万円 43,000	百万円 28,000	円 銭 291.64
今回修正予想 (B)	1,083,000	37,500	43,000	△5,000	△52.08
増減額 (B-A)	—	—	—	△33,000	
増減率 ( % )	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	1,043,756	30,116	37,731	28,629	291.62

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株に併合いたしました。

これに伴い、前会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

### 4. 業績予想修正の理由

連結の親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の減損損失の計上により、前回発表予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想数値を修正しております。

また、個別の当期純利益についても、政策保有株式の売却及び退職給付信託への拠出を行いました。上記の関係会社株式評価損の計上により、前回発表予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想数値を修正しております。

なお、連結及び個別の売上高、営業利益、経常利益については、前回発表しました予想どおりと見込んでおり、予想数値を据え置きといたしました。

### 5. 配当予想について

平成30年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり60円の従来予想から変更はありません。

#### (業績予想に関する注意事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断し作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上